

審 議 会 等 の 会 議 の 開 催 結 果

会議の名称	令和4年度 第2回加東市立図書館協議会
開催日時	令和5年3月9日(木) 18時00分から19時30分まで
開催場所	加東市中央図書館 会議室(2階)
<p>◇協議事項</p> <p>(1) 令和4年度 図書館活動報告(中間報告)</p> <p>説 明: 館長 会議資料に基づき説明 各副課長 会議資料に基づき説明</p> <p>(2) 令和5年度の事業計画・課題</p> <p>説 明: 館長 会議資料に基づき説明 各副課長 会議資料に基づき説明</p> <p>(3) その他</p> <p>説 明: 館長 会議資料に基づき説明</p> <p>◇協議の概要</p> <p>(1) 令和4年度図書館活動報告(中間報告)</p> <p>議 長: 説明が終わりました。今の説明に関しまして、委員の皆様からご意見・ご質問をお願いいたします。</p> <p>委 員: 7ページの同一テーマの展示が素敵だなと思ったのですが、これは掲示が目標ということですか。内容とかはどんな感じになっているのですか。</p> <p>事務局: テーマが虹色ということで、西脇市さんを中心に企画されたのですが、西脇市さんは本の背中の色で棚に虹を作られたということです。その隣の多可町さんは、本のタイトルに色が入っている本であったり、背表紙の色であったり様々な本を集められたと聞いています。加東市中央図書館は、本のタイトルに色が入っているものや背表紙の色で七色を作ったり、細かく何種類か4つくらいの部門に分かれて本を置いたのですが、最終的には背表紙の色でまとめました。虹とつく本が案外少なかったので、本の色で集めたような形になりました。加西市さんも同じような形で、本の色とか内容とかで虹が入っているようなものという形で集められたと聞いています。</p> <p>委 員: ありがとうございます。また、いろいろなところでいろいろな展示があるので、比べて見てみたいなと思いました。</p> <p>議 長: 続いてお願いいたします。</p> <p>委 員: それぞれ3館ともに、「読もう・図書館に足を向けよう」という、気持ちをそそるような取り組みがなされていて、非常に面白いなというように拝見し</p>	

ました。例えば「どくしょ d e ぽん」とかあるいは今からされる「ガチャ×本（ポン）」とかあるいは季節ごとに合ったような折り紙をぺたぺた張るとい、子どもにとってやはり自分の物がそこに展示されてみんなに見てもらえるということはやはり嬉しいし、こんな面白いことをしてくれるのだから図書館に行こうと親に言う気持ちにさせてくれるのではと思います。素晴らしい取り組みだなと感服いたしました。一つ二つほどお伺いしたいのですが、リサイクル展というのを図書館で例えば大きな行事の時になさっていると伺いましたが、私は機会がなくて行かせていただくことはなかったのですが、もしもそういうことがたぶん広報か何かに書かれていたと思うのですが確認してといいますか見るチャンスがなくて、そういうのがあるならばぜひ足を運びたいなというように、今、実感として思っています。私はよく中央図書館にお邪魔するのですが、中央図書館の入口の所に廃棄本というか「よければお持ち帰りください」という無料の本が何冊かいつも絶えずあって、無くなったと思ったら補充されている形で、それはいったいどのような周期でどのような物を出しておられるのか。例えば「雑誌はありません」という場合もあれば、単行本や文庫本というように周期を決めておられるようではないように思われまして、私は結構雑誌が好きなので、いつも目をつけていまして、私の好きな雑誌はないかなと見るのですが、雑誌があることがあまりなくて、そういうリサイクル本や廃棄本を図書館の利用者に無料で配布するようなありがたい機会なので、それをもっと時期を設定したり種類を設定するとか、次回はこれですというようなお知らせがあると、とても目をつけやすくありがたいかなというように欲張った事を考えていますが、いかがでしょうか。

事務局：中央図書館のリサイクル展に関しましては、館内の掲示と文字放送と図書館のホームページで、2回ともそちらでお知らせはさせていただいたのですが、2回目の乾杯まつりに関しましては、かなり急に決めたのであまり周知できなかったというのがあります。廃棄ですが、図書・情報センターが閉館になった分もありまして本の整理を進めております。元々中央図書館の書庫にあった本で、利用頻度が低い物や、内容が古くなって使えなくなっている物を整理して廃棄している状況です。廃棄した本を箱詰めして置いておまして、その箱詰めした物からリサイクル展に出品したのですが、その残りや出し切れなかった分を入口の所にリサイクルの続きのような形で置かせていただいています。雑誌に関しては、保存年限というのを雑誌ごとに決めておまして、その保存年限が過ぎた物を廃棄にしておまして、そちらもリサイ

クルに出すのですが、ただ保存年限が過ぎた物ですので出る冊数がそんなに1年ずつのいった雑誌分という形になって、それがいつリサイクルに出るかということが、リサイクル展以外では時期がわからないところで、できるだけ雑誌に関してはリサイクル展で1度にとりあえず形にはさせていただいているところですが、今玄関に並んでいる雑誌は、リサイクル展で出させてもらった残りだったりしています。

委員：すみません。もう1点よろしいでしょうか？

3ページに特設展示を充実させ、利用者が様々な本とであうきっかけを作られたと書かれています。特設展示はいつも楽しみでどんな物がとりあげられているのかなや、どんな本があるのかなと、本当に図書館に参ります度にワクワクして拝見はしているのですが、前も同じような事をひょっとするとお伺いしたかもしれないのですが、特設展示というものの例えば年間的な展示の計画であったり、昨今少し小学生と話すことがあって、「今日は3月6日や。虫が出てくるぞ。啓蟄って知っているか」「はあ」となり「こんな漢字書くんだよ。」「読めないよおばちゃん！」という会話があったのですが、教育長さんも言われたように小学生が啓蟄を知らないからどうこうというのではなくて、季節の行事であるとかあるいは季節感というものがあるのかどうか、大人がそういうことに対して子どもに声をかけるとか教育の現場でもそういうことはなされていると思いますが、日常茶飯的な所で季節がこうなったよね、「今日は雨水だよ。だからお雛様を飾らない」と「雨水とはなんですか」二十四節気というもの、どんどん大人でさえも二十四節気の話をする、なにそれ？というように聞かれるのです。日本人がそのどんどん地球が温暖化になって四季の区別もはっきりしないのではないかというような、もうこれは温帯ではなく亜熱帯だろうと言われるような昨今の気象ですから、日常の実感に離れたような季節を表す言葉というのが日常茶飯で聞かれなければ、そういうことを口にするのもない。というのは当然なのかもしれないがせつかく日本人が連綿と伝えてきた季節を感じるような感性が生み出した言葉みたいなものを何かこう失ってしまっているような、今大人がしっかりしないと無くしてしまうような、いちいちウィキペディアや辞書で調べないとわからないような、それは日本人として寂しいなという気持ちを持っています。だから特設展示の中で、今ウクライナで戦争があるので戦争のようなすごく重いテーマに、一般に恐怖するような図書館が触れることに対しては、やはりどうなのかなと思うのですが、例えば二十四節気のような季節感をさりげなく持てるようなものをどこかに刺激的に

展示として、それを見て覚えろではなくて、そういうのがあるのね。見て何か変わっていると二十四節気が変わったのだと二十四節気というのだと、いうことだけでもいいので何か刺激するような展示はなされないのかなと、例えば夏休みには読書感想文です、年末にはおせちです、お雑煮です。お正月のしきたり行事です。というのは、ごくごく当たり前の一般的なはっきり言うところ定着した展示であろうと思うのですが、それ以外にも何か感覚を刺激するような展示というものがあれば、図書館を利用する若い人とかお子様の心に残っていくのではないかと思います。そういう特設の展示というものについて、例えば年間的な計画や、あるいは加東市にはありがたいことに図書館が3つもありますので、その3つの館で分業して何か、今回はこの館がこういう取り組みをみたいなのをなさっているのかどうかをお伺いしたいなと思います。

事務局：展示に関しては、各館の職員が当番制で各月を担当しておりますので、その大展示については本が集めやすいたくさんの分量があるというのを考えながらしておりますので、なかなか3館で計画的にということができている状態です。もし可能ならば、3館の連携をとって計画的に提供できるようにしていきたいと思います。

委員：すみません。何かそういう余裕がおありならば、そういう取り組みもお考えいただければなと思いました。以上です。

委員：図書館アプリというのができるというか、もうすぐ使えるということですが、どういう機能があるのか少し簡単に伺いたいなと思います。

事務局：アプリを立ち上げていただきまして、ご自身のカードの番号等を登録していただきますと、カードを持ってこなくてもスマホにカードのバーコードが出ますのでそれでカードの代わりになります。ということが、1つ大きくあります。図書の検索であるとかご自身の借りた本であるとか等の、今現在の図書館のシステムの中にある利用照会みたいな形がついてきたり、図書館のカレンダーがでてきたり、お知らせのページがありますので、そこでこういう行事がありますという様な発信をすると、そのアプリで見えていただけるという形になります。ちょっとまだ今、あのQRコードは正式な物なので使っていただけないのですが、16日以降にQRコードを読み込んでいただくとアプリがダウンロードできるという形になります。機能的にはwebと一緒になので、図書館システムのパソコンで見られてwebの機能が、深く何度もクリックしていただかなくても、アプリで簡単にできるようになっています。

事務局 : 一番便利な点は、図書館の利用カードをスマホ上で表示ができるということだと思います。今までは必ず図書館カードをお持ちくださいとお願いしていましたが、スマホはみなさんがどこへ行かれるときもお忘れにならないものだと思いますので、スマホを持ってくれば図書館の利用カードが表示できて、スマホで図書館の本が借りられるというのが一番の大きい部分だと思います。

委員 : ありがとうございます。スマホを持っていない子どものカードは登録できますか。

事務局 : ご自身お一人で使っていただければと思います。

委員 : はい、わかりました。

委員 : すみません、ついでに。図書館の検索のところも新しくなったんですね。ページがもっとごちゃごちゃしていたのに、すっきりした感じがあるのですが、すごく見やすくなって興奮して余計に予約を入れてしまいました。読書マラソンというのをなさっていますよね。自分で設定をして、ある一定の期間の中で歩めたら何パーセントですと出てくるのですが、目標を達成すればガチャとかポンで景品があるみたいに、伝の助がでてきて目標達成！と画面だけでもいいのと言ってくれないものかと思ひまして、大人でも私は一応200冊という目標を立てて、つい先日203冊ですと、103%ですみたいに言われて、「えっ！これだけ？」と思ひてしまいましたので、何か大人もヨシヨシしてもらえるような伝の助がピース！と出てくるとか、やったー！と飛び跳ねるようなものがあれば嬉しいなと、今ポンやガチャを見て正直思いました。

事務局 : できるかどうかは、システムのSEさんに聞いておきます。

委員 : 学校の方で、学習に関係する本をたくさん入れていただいているというような、先ほどのお言葉があり嬉しいなと思います。学校の方でも毎年本を購入するのですが、品切れとか絶版とかわりと手に入らない本もあって、そういったものを貸していただけたらありがたいなと思いますし、もし学校側から「こういう勉強をするので、こんな本を揃えていただければありがたいです」というお伝えをしてもいいのかどうかということなのですが、お伝えをしてテーマに沿った学習ができる本も少しずつ入れていただけるとありがたいなと思います。その中からどこの本が使いやすいよ。とか、読み聞かせをするならこういう本がいいですよ。というアドバイス等もいただくとありがたいです。東条学園は、司書が常におりますので、そういったところで司書の先生にお世話になっているのですが、もしそういう情報を図書館さん

の方からいただけるともっとより一層学習の充実ができるのかなと思っています。どれにも対応していただくのは難しいと思うのですが、学年に年間いくつかの大きなテーマで図書館利用の学習が入ってきますので、そういったところでまたお伝えしてもいいですか。

事務局：全部を揃えさせていただくということは難しいかもしれないですけども、なるべくそのご希望に沿った本を入れていきたいと思っていますので、言っていただければ大丈夫です。

委員：ありがとうございます。図書館ボランティアの方に来ていただいて、本を読んでもらっているのですが、読んでいただいた本にはすごく子どもたちが興味を示しているのはわかるので、また良い本があれば教えていただければありがたいです。特に新刊などは、本当に私の方もなかなか情報が集められなくて、そういうところから良い本とか面白い本とか次こういう本を買ったらいいよ、というのがあれば、また教えていただければありがたいなと思います。よろしくお願いします。

委員：今さらコロナの話なのですが、幸いにも私はまだコロナに感染したことがなくて、そういうことはないのですが、もし自分が本を何冊か借りている時にコロナに感染してしまった場合は、借りた本に当然ウイルス等がついていきますよね。もし、その時に読んでいれば。それは本にだいた付いたウイルスが生きているのか。とか、もし自分が感染した本を返す時にそういう申告をして滝野とかなら消毒の機械があるではないですか。そういう機械を通してください。という様な事を言った方が当然いいですよ。もし今借りた時に、感染して返す時にどうしよう、とか考えたことが最近あって、予約割り当てがきた時にこのコロナ感染している時に誰か知り合いの人にカードを持って行って借りてきてくださいと言って、そうして持って帰ればウイルスが付いてしまうじゃないですか。それをどのように借りる側からすればお話しすればいいのでしょうか。

事務局：実際に今借りているが、コロナで返しに行けないとか言われる方もいらっしゃると思いますので、その時は延滞になるのですが、ご自身が来られる時に来てくださいというように図書館としては言っていて、そこまで現状としては厳密にできていません。

委員：もし、自分のやつが第三者に感染させれば申し訳ないので、そういうところを今さらなのですが、今回考えてしまいました。

事務局：もし、感染していましたということで、ご申告いただいて本をお持ちいただいても、できる消毒は表面をアルコールで拭くだけになると思うのです。本

の中身にアルコールはかけられませんので、やはり中身の消毒はできないので図書館で本を借りていただく時は読まれる前に手を消毒してください。読まれた後に手を消毒してください。ということしか、こちらからはなかなか言えないので完全に除菌機で除菌ができていないかといえば、中身については除菌はできていない物だと思っているので、なかなかそこまで割り切った対応というのができないのかなと思います。

委員：自分が感染した時に、どうしよう、と思ったので少し疑問に思っていました。もう一ついいですか。最近お子さんが生まれた方とかに、図書館のご利用を勧めているのですが、図書館に行った時に何か要望はありますかと聞くと、やっぱり子どもって騒ぐじゃないですか。できればあまり声を気にすることなく楽しめる場所があれば嬉しいと言われました。

事務局：いつもたくさんの方に図書館をご紹介いただいてありがとうございます。赤ちゃんを連れてこられ方はよくいらっしゃるのですが、確かにすごくシーンとしている場合もあるのですが、赤ちゃんの声が聞こえると少し和むというか多少の泣き声はあまりみなさん気にされてないというか、そういう面もあるので泣いてしまうのは仕方のないことだと思いますので、遠慮せずにご来館いただければと思います。

委員：わかりました。ぜひぜひ勧めます。

事務局：ありがとうございます。

委員：お礼とお知らせをひとつさせていただきたい。

「ぐぐっと！北播磨」に加東に初めての小中一貫校が誕生したということを書かせていただいているのですが、3月21日に環境を考える市民の集いというのを、東条公民館中心にされているのですが、その時に東条学園さんと兵教大附属中学校の生徒や先生が発表をされます。そこで花を植えているところがあるのですが、社会教育なのです。地域の高齢者と東条学園の生徒さんたちと一緒に花を植えるということをやった方からの話なのですが、これは高齢者の生きがいがづくりなのです。笑顔を生む魔法の言葉「ありがとう」で、おじいちゃんおばあちゃんが小さな子どもから「ありがとう」と言ってもらえるといっぺんに元気になるのですが、その元気をいただいているのが今の東条学園さんということで、Kさんという方が書いているのですが、まさにその通りかなと思うのです。農業をやっていると、みなさんご存じやと思うのですが彼岸花は何も教えなくても同じ場所に時期になればきちっと花が咲くのです。先ほど言われていた冬の間の体感で雨水であったりというのはまさに農業とつながっているのです。今の若い人たちに、ぜひ滝野図書館

にあるのですが、農業をしようと思った時に作物を育てようと思えば、昔からやられている二十四節気をきちっと覚えれば自分自身のおいしい作物ができますよ、というお話なのです。うちの地域の吉田忠左衛門が居た陣屋跡なのですが、不思議と明日3月10日にそこにはフキノトウが顔を出してくれます。面白いでしょ。地球温暖化とかありますが、植物や小鳥はちゃんと知っているのです。近くの家で飼っているヤギに子ヤギが次々と生まれてきています。まさに春です。小さな子どもたちが今うちの村でも生まれてくれて嬉しく思っています。

議長：他にご意見ございますか。ご質問ございますか。

委員：うちに4歳の子どもと2歳手前の子どもがいるのですが、この間滝野図書館に行ったら小さい子のエリアがあって小さいかごも置いてあって、それにいっぱい自分で絵本を選んでかごに入れて持って行くのが楽しいみたいで、中央と東条ももしそういうかごを置いてもらえたらなというちょっとした要望です。もうひとつ、子どもが図書館カードを持ってカウンターに行くということも楽しいので、カードのデザインや色を何種類か選べるとちょっといいかなと思っています。

議長：たくさんのご意見・ご質問ありがとうございました。

(2) 令和5年度の事業計画・課題

説明：館長 会議資料に基づき説明

各副課長 会議資料に基づき説明

議長：説明が終わりました。今の説明に関して、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

委員：中央図書館の内装改修工事が、始まるのは令和5年度のいつぐらいなのでしょう。

事務局：3月議会がまだ終わっていないのではっきりと申し上げられないのですが、夏休みは避けたいと思っております。今はそれぐらいしか申し上げられません。

委員：だいたい大まかな時期としては。

事務局：夏休みが終わったあとぐらいになるかなと思います。

委員：秋ということですね。ありがとうございます。

議長：続いてお願いいたします。ご質問ありませんか。よろしいですか。

(3) その他

説明：館長 会議資料に基づき説明

議長：今の報告に関して、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

委員：自分自身もかつてそういうことをしてしまいましたので、すごく反省の意味も込めてお伺いしたいのですが、図書館の本をお借りする時に2週間、休館される場合はそうではないですが、一応2週間が限度となっていてお借りするのですがどうしても間に合わないと言滞ですよね。1回は延長可能ですよということは聞いているのですが、それでもなおかつ、という場合もあるかと思うのですが、今、加東市の図書館で延滞にかかるような、借りたのになかなか返してくれないというような本は結構多くあるのでしょうか。あるいは、この間滝野図書館で漫画『税金で買った本』というのをお借りして、公立の図書館の司書の方のご苦勞が漫画になっていて、ああこうなのかと思うことが多々ありまして、要するにせつかくみんなで読む分なのに、その本を傷つけたり汚したり破いたり、あるいは書き込みをしてしまうと、それで結局新しく買いなおさないといけないというような事態も発生すると思うのですが、要するに延滞されている本というのは相当数あるのかどうか。それから汚れてしまって、書架に出せないという本も結構あるのかどうか。現状を伺いたいのですが、いかがでしょうか。

事務局：中央図書館では、はっきりした数は今持ってないのでお答えできませんが、確かに延滞される方はあります。予約のついている本で延滞されている物に関しては、返却日が過ぎてすぐに「お返しいただけますか」ということで連絡をさせていただいております。また予約がついてなくても長期延滞される場合は、連絡させていただいて「なるべく早くお持ちください」ということでのお願いをして、返していただくようにはお願いをしているところです。本を汚されたり破られたりというようなことは、日常的に確かに起こることではあります。ただ、ページが外れてしまったというのは製本の弱い本であったりするとあり得ますので、図書館で修理ができる範囲であればそのままお預かりして修理をして棚に出すということもあります。修理ができないほど汚されてしまったとか水で濡らしてヨレヨレになってしまった本に関しては、同じ本を買って弁償をしていただくこともあります。

事務局：長期延滞ですとか弁償についての取扱いは、それぞれの館でやってはいるのですが基本的な取り扱いは同じですので、滝野図書館・東条図書館も同じように督促をいたしまして、弁償が必要な場合には弁償させていただいております。

委員：すみません。確認ですが、中央図書館で貸出をカウンターでせずに、けしか

らん人がおられるのか本が無くなっているのですね。そう読み取れる記載があったのですが、あれは中央図書館だけで滝野図書館や東条図書館はそういう輩はいてない、ちゃんとルールをみんな守っておられるのか、ということを知りたいです。

事務局：毎年、年に1度、蔵書点検ということで各館の本を1点ずつ確認しております。残念ながら毎年不明本ということで貸し出しを通さずに持って帰られて書棚にないという状態になっておりますので、そういった本も各館で発生しております。

委員：防止策としては、どうされるのですか。啓発しかないですか。自覚をしてもらわないといけない。あるところでは、ビデオは撮ってなくても記録しておりますということではできないですね。本当は撮ってなくてもモニターだけはあるというような、顔は隠して本人がアカンと思うような対策をするところもありますよね。何か考えていかれた方がいいのではないかと感じました。

事務局：中央図書館は確かに、新刊のところから持っていかれるということが起こったのもありまして、今は一般書の新刊の棚をカウンターの前に移動しました。「職員が見ていますよ。」ということをアピールする意味もありまして、カウンターの横に置かせていただきました。それ以降の新刊の不明に関しては、減っているというふうに感じています。

議長：ほかにご質問ありませんか。

事務局：今の委員のお話の件で、不明本の対策というだけではないのですが、これまで館内に防犯カメラを入れてなかったものを、その注意喚起もありまして、今3館とも防犯カメラの設置をさせていただいている現状があります。

委員：ありがとうございます。

議長：その他全体を通してご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。無いようですので進行を事務局の方にお返しいたします。ご協力・たくさんのご意見ありがとうございました。

事務局：ありがとうございました。

以上を持ちまして、令和4年度第2回の図書館協議会を終了させていただきます。